

令和6年度

「自分で作るお弁当の日」 (オセモコへの掲載)



大人も、子どもも みんなで読もう

南日本子ども新聞

オセモコ



オセモコって?

オセモコは、鹿児島市の「長才も子も(おせもこ)」を短くした造語です。



松山 翔乃佑さん
福平小6年
(鹿児島市)

色とりどりのお弁当の写真を、そして「弁当の日」という文字に、懐かしい思いで胸がいっぱいになった。

ぼくは両親の仕事の関係で、徳島の小学校に通っていたことがある。その学校で毎年取り組んでいたのが「弁当の日」だった。小学生がすべてを一人でつくるのは難しいので、どう関わるか、自分なりの目標を決めて取り組んでいた。

親子でメニューを考えたり、食材を選んだり、前日に仕込みをしたりと、わくわくがいっぱいあった。当日は自慢の弁当をみんなが持参し、笑顔で見せ合った。「弁当の日」をきっかけに、夕食作りを手伝ったり、一

島立ちへ「弁当の日」



海星中学校の生徒が手作り挑戦
手作りの弁当を手に笑顔の生徒たち
—鹿児島市内の海星中学校—

12月1日 12面

独り立ち 前向きに応援

島立ちを見据えた「弁当の日」は、離島ならではの取り組みですね。海星中学校の生徒たちも松山さんと同じように、個人の設備に合わせてコースを選び、工夫を凝らした弁当を作りました。島を出て家族と離れたら寂しさを感じることもあると思いますが、家庭の味を再現して、栄養あるご飯で元気に過ごしてほしいですね。(薩摩川内総局・田上恵以)

記者からひとこと



オセモコ特派員に最近の新聞で気になった記事について、感想や意見を書いてもらいます。

南日本新聞掲載【1月11日】